



日本遺産
JAPAN HERITAGE
糸都物語

由木中央小



令和8年8月26日
学校だより 第6号
八王子市立由木中央小学校

教育目標 「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school.ed.jp/yugce/> 校長 松山 大作

弾ける挨拶 ～笑顔あふれる2学期のスタート！～

校長 松山大作

「おはようございます！」——校舎に子どもたちの元気いっぱいの笑顔と明るい声が戻ってきました。

本日より、いよいよ2学期が始まります。静まり返っていた学校が再び活気に満ちあふれていく様子に、私たち教職員一同、大きな喜びを感じております。今学期も、子どもたち一人ひとりの未来を照らす灯火(ともしび)となるべく、丁寧な指導と支援に全力を尽くしてまいります。

毎朝、校門や交差点に立って子どもたちと挨拶を交わすことは、私にとって、一人ひとりの表情を見守り、地域の方々と心を通わせるかけがえのないひと時です。挨拶とは、単なるマナーではありません。「あなたのことを大切に想っています」という敬意を届ける「心の贈り物」です。朝の「おはよう！」の響きは子どもたちに確かな安心感を与え、社会の中で人と豊かにつながり合うための「心の土台」を築いていきます。

1学期末、朝の挨拶で素敵な感動に出会いました。いつものように子どもたちを迎えていると、普段は恥ずかしそうに通り過ぎていた1年生の児童が、私の目をまっすぐ見つめ「校長先生、おはようございます！」と精いっぱい声を届けてくれたのです。そのひたむきな姿に胸が熱くなりました。小さな挨拶の種が子どもの心に深く根を張り、その子なりの確かな一歩として実を結んだ瞬間でした。

また、この夏休みにも、ある保護者の方から大変嬉しいお話を伺いました。

「学校がない夏休み中も、家の中で、自分からすすんで『おはよう』と言えるようになっていきます」そう話してくださる晴れやかなまなざしに触れ、学校での投げかけがご家庭の生活の中へと着実に浸透していることが分かり、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。私たちが目指す「明るい挨拶が行き交う学校」づくりは、学校だけで完結するものではありません。皆様が日々、ご家庭や地域の中で子どもたちを温かく支え、共に育ててくださっているからこそ、今、子どもたちの姿にしっかりと成果となって表れています。

こうした皆様のご協力に支えられ、このたび9月11日(金)、東京都の青少年健全育成事業として、挨拶音楽劇『挨拶は魔法の力』を本校で開催する運びとなりました。当日は保護者や地域の皆様もぜひお越しいただき、劇を楽しみながら、“挨拶の持つ力”を見つめ直す、かけがえのない機会にできればと願っております。

本校では、この「挨拶」を今年度の生活指導目標の重点に掲げています。挨拶は、人の心を一瞬で明るくする不思議な輝きを持ち、子どもたちが未来を自らの手で切り拓いていく「生きる力」へと繋がっていきます。「いつでも、どこでも、誰にでも、誠実で爽やかな挨拶ができる人になってほしい」という願いを胸に、学校・家庭・地域が一体となって取組を進めてまいります。

2学期も、由木中央小学校に弾けるような挨拶の声を響かせていきたいと思っております。ご家庭におかれましても、「今日も元気にいってらっしゃい！」と、毎朝お子さんの背中を明るい挨拶で押していただければ幸いです。今学期も本校の教育活動への温かいご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

熱中症対策について

まだまだ、暑い日が続きます。児童の体調管理と水分補給にご協力ください。登下校時には、両手が空き、水でぬらすだけで使える冷タオル等もご活用いただき、暑さ対策をよろしくお願いいたします。